



自由民主党市議団

小林 美緒

災害時、中央公園をへり
ポルトに

問 震災などで道路が使えない場合、自衛隊が到着するまでのくらの時間がかるのか。

環境安全 部長 車両での移動が困難な状況でもヘリコプター等を活用し、24時間以内には部隊が到着できる体制を整えていると聞いている。

問 中央公園は広域避難場所以外にも、ヘリポートやベースキャンプ、車両基地等として活用できると考える。いかがか。

環境安全 部長 都の構想では、非環境安全 部長 常電源設備や電子看板等を設置するとしており、防災公園として活用することは、近隣地域の方にとってもメリットがあると認識している。

質問項目
◆もしもの時、より安心な東村山にする為に
中央公園の活用
◆若者の活力ある商店会を

問 全長67mの久米川八坂商店会にさらなる活気を

シティブロモーションの視点からも、この2駅に挟まれた距離の長い商店会に活気を持たせられないか。

市民部長 多くの人が訪れ、活気あるイベント等でも商店会の魅力を知ってもらい、来訪者を増やすことが活性化に繋がる

と考えている。

問 商店会を舞台に、起爆剤となるイベントを市と市民団体がプロモーションする計画や意気込みはあるか。

市民部長 さまざまな団体と連携・協力し、東村山の魅力を市内外に効果的に発信することで、市の認知度やイメージを向上させていきたい。



自由民主党市議団

小町 明夫

先駆的な取り組みで東
村山創生を進めよう

問 創生総合戦略の基本目標に「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」とあるが、どのように進めるのか。

経営政策 部長 婚活支援や妊婦健診・相談体制の充実、認定こども園の整備など、子どもを産み育てやすい環境の整備を推進

問 国は、今年度から地方創生推進交付金を創設し、地方自治体の総合戦略を支援している。当市はこの交付金をどのように活用していくのか。

経営政策 部長 酒蔵を中心とした多摩地域の連携等を、今後考えていきたい。

問 都内進出等を考えている企業への支援検討・推進がある。その内容を伺う。

経営政策 部長 地域の金融機関等大を指している地方企業等へ、不動産情報の提供や、人材育成面での支援を考えている。

問 選ばれる自治体になるには、まさに魅力

を持たせて広く全国に発信することが必要である。東村山創生に対する市長の考えと決意を伺う。

市長 地方企業が首都圏に進出する際の窓口になり、総合的に支援することで市内周辺に働く場所をつくる。このことを政策に掲げ、地方創生推進交付金の獲得に向けて努力していきたい。

質問項目
◆地方創生にどう取り組み活性化させるのか？



公明党

渡辺 英子

市民のオーガニックフリー
手を引き出す施策を！

問 昨年の6月からレンタサイクルが始まったが、利用者の用途は？

環境安全 部長 「仕事・通勤」で25.4%である。

問 久米川駅周辺で新しい試みが数多く行われているが、他の地域に

住んでいる方の参加は少ない。市民が楽しみ、感動して発信することで東村山ファンが構築される

と考える。市内イベントの局地的性について見解を伺う。

市民部長 イベントを開催する際には、訪れやすく、多くの人を受け入れられる場所が必要であり、開催場所が限られてしま

質問項目
◆市民が楽しむ観光から始めよう！東村山らしい観光とは
◆ゆりかごがしむらやま事業のさらなる充実を

問 当市の強みを生かした観光施策について、考えを伺う。

市長 歴史文化遺産や豊かな自然、伝統食などが数多くある当市の良さを、市内外にPRし

う。今後は、市内を周遊するイベントや観光スポット等を活用し、市全体に人の動線ができるよう研究していきたい。

問 「子育てするなら東村山」を名実ともに充実させるための施策は？

市長 多胎や若年・高齢、既往歴がある方、経済困窮者等の出産はリスクが高くなる傾向にあるため、まずは相談しやすい体制を構築していく。

ていくことが重要である。ハイリスク妊婦に手厚い施策でさらに充実を！



公明党

村山 淳子

29年度以降に東村山駅改札は仮設地下通路に移動

問 高架化工事に伴い、仮設地下通路等の工事が始まったが、通路の位置はどこになるのか。

まちづくり 部長 東口は交番があった付近から、西口は薬局があった付近から新宿方面に向かって階段を降り、地下通路に入る予定である。

問 東口駅前ロータリーの安全対策はいつから始めるのか。

まちづくり 部長 工事期間中、人の動線が変わる所については早急に検討するが、高架化と同時に駅前広場が共用できるように進めていきたい。

問 高架化工事完了後、踏切が除却される鷹の道を整備する予定はあるか。

まちづくり 部長 た付近から、西口は薬局があった付近から新宿方面に向かって階段を降り、地下通路に入る予定である。

問 鷹の道を整備する予定はあるか。

質問項目
◆連続立体交差事業の進捗について
◆子育て支援をさらに充実するために
◆化成小学校校庭の検証結果について

問 現在、郵便局から社会福祉協議会がある交差点までの約240mの道路整備を検討しており、歩道設置等の安全対策についても一緒に考えていく。

まちづくり 部長 土壌改良は霜に効果あり！早期に本格実施を！

問 化成小学校では、校庭のぬかるみを改善

するために27年度から試験的に土壌改良を行っている。霜が降りてぬかるみがひどくなる冬期に行った検証でも効果があったと聞く。一日も早い本格実施に向けて、市長の考えを伺う。

市長 検証結果を踏まえ、教育委員会と協議し、前向きに進めていきたい。



公明党

横尾 孝雄

2020年を目指し、ICT
教育の充実を！

問 文部科学省は、2020年までに1人1台のタブレット端末やデジタル教科書の導入、無線LANの全校整備等を目標に掲げている。当市では、ICTを取り入れた教育について検討しているか。

教育部長 今年度、都教育委員会より英語教育推進地域の指定を受けた。各小学校にタブレット型端末を3台ずつ導入し、英語教育に活用していく。また、第五中学校は情報モラル推進校に指定されたため、タブレット型端末4台を導入して情報活用能力の普及・啓発を行うっていく予定である。

問 児童・生徒一人ひとりに応じたわかりやすい授業やいつでもどこでも受けられる教育の実現、特別支援教育における双方向の学習等、教育の質の向上につながる効果的な活用が求められることから、引き続き検討していきたい。

市長 基本的には、今後予定されている都市計画道路の整備にあわせて一定程度まで用途や容積率を上げ、周辺との調和を図りながらより良い住環境の形成を目指していく。

質問項目
◆ICTの活用で未来を開く！
◆地区計画で街の価値の向上へ

問 建ぺい率・容積率の緩和は面で捉える街づくりを

市長 当市の街づくりについて、市長の考えは、

市長 基本的には、今後予定されている都市計画道路の整備にあわせて一定程度まで用途や容積率を上げ、周辺との調和を図りながらより良い住環境の形成を目指していく。



公明党

佐藤まさたか

高齢化への対応と将来
を見据えた施策展開を

問 エレベーターのない都営住宅等に住んでいる高齢者や障害者にとって、ごみ出しは大変である。市は課題として認識していると言いが、支援策を早急に検討すべきではないか。

資源循環 部長 地域の力を借りることを含め、福祉

問 容器包装リサイクル法の趣旨を踏まえ、大量のペットボトル飲料を購入している方には店頭回収を利用してもらうよう、周知徹底すべきである。いかがか。

資源循環 部長 今後、小売業者へ店頭回収の協力を働きかけるとともに、

質問項目
◆持続可能なごみ処理行政のために
市として子どもの相談・救済機関の設置を急ぐ

ごみ見聞録やホームページ、リサイクルフェア等で周知し、市民にも協力をお願いしていきたい。

子ども権利を守るための機関の立ち上げを

問 昨今起きているさまざまな問題を教育委員会だけの問題にせず、公的な第三者機関の設置を検討すべきではないか。

市長 子どもの権利利益を擁護するためにも、公的な第三者機関の設置を検討すべきではないか。今後、検討していきたい。

